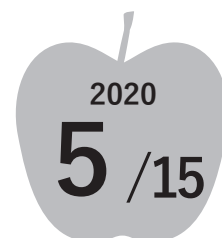


広報 ひろさき



No.342

新型コロナウイルス感染症についてのお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない中、今後も感染予防と拡大防止の徹底が求められます。不要不急の外出は控えるなど、一人一人が意識を高め、感染の拡大を防止しましょう。

集団感染を防ぐために

感染症対策には、風邪や季節性インフルエンザ対策同様、一人一人の咳エチケットや手洗いなどの実施が重要です。加えて、集団感染を防ぐためには、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の接触する恐れが高い場所」に集まることを避ける必要があります。

集団感染を起こさない空間づくりをするために、次の3つを意識しましょう。

※咳エチケットとは…咳・くしゃみをする際に、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえること。

①「密閉」空間にしないよう、こまめな換気を

【窓がある場合】

2方向の窓を数分間、全開にすることで風の流れを作ります（換気回数は1時間に2回以上）。

窓が1つしかない場合は、入り口のドアを開けることで窓とドアの間に空気が流れます。さらに、扇風機や換気扇を一緒に使うことで、より効果的な換気をすることができます。

【乗り物の場合】

乗用車やトラックなどのエアコンは、「外気モード」にすることで、車内の空気を循環することができます。また、電車やバスなどの公共交通機関でも、窓を開けて換気に協力しましょう。

②「密集」しないよう、人と人との距離を取りましょう

他の人とは、互いに手を伸ばして届かない十分

な距離（2メートル以上）を取ります。スーパーのレジなどで列に並んでいるときは、前の人に近づきすぎないように注意しましょう。

③「密接」した会話や発声は、避けましょう

密接した状態での会話や発声は、ウイルスを含んだ飛沫を生みます。対面での会議や面談が避けられない場合には、十分な距離を保ち、マスクを着用しましょう。また、エレベーターや電車などでは、会話や携帯電話による通話をしないようにしましょう。

■問い合わせは、本誌3ページ「相談窓口」に記載の連絡先へ。



▲出典：首相官邸ホームページ



「広報ひろさき」録音版の配布を希望する人は障がい福祉課（☎ 40-7036）まで。



「広報ひろさき」をアプリで読めます！「マチイロ」で検索（iOS・Android 対応）

